

2023年度第1四半期決算説明資料

2023年8月4日

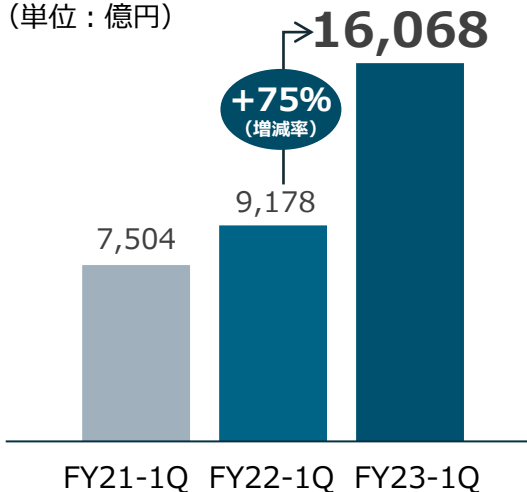
三菱重工業株式会社

1. 決算のポイント	3-5
2. 2023年度第1四半期決算実績	6-14
<ul style="list-style-type: none">・ 連結経営成績サマリー・ 連結財政状態、キャッシュ・フロー・ 事業利益増減分析・ セグメント情報	
3. 2023年度業績見通し	15-17
4. 補足資料	18-21

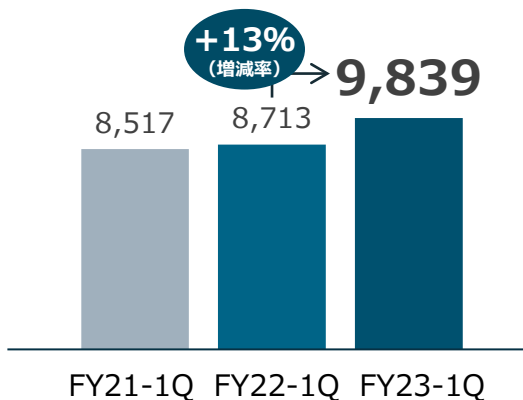
1. 決算のポイント

受注高

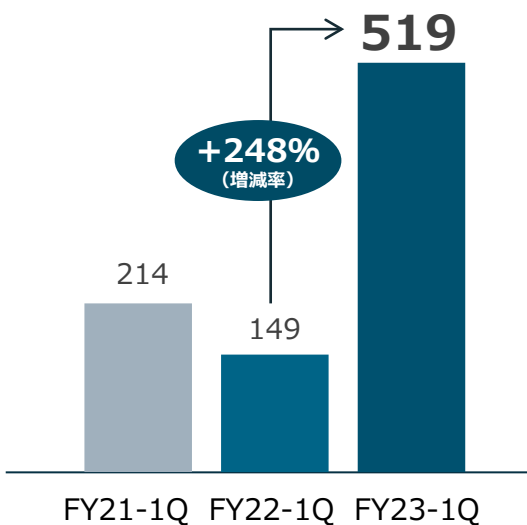
(単位：億円)



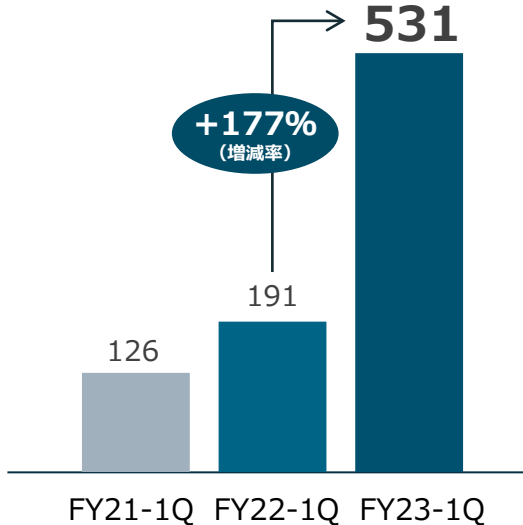
売上収益



事業利益



当期利益



EBITDA

851

億円

(YoY +379億円)

EBITDAマージン
8.7%
(YoY +3.3 pts)

フリーCF

△1,403

億円

(YoY +194億円)

営業CF
△1,601億円
(YoY △120億円)

有利子負債

8,907

億円

(YoY △787億円)

純有利子負債
5,793億円
(YoY △109億円)

D/Eレシオ

0.46

(YoY △0.11)

自己資本比率

32.7%

(YoY +2.5 pts)

- 受注高：16,068億円（前年同期比：+6,890億円）
エネルギー、物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙の3セグメントが増加。
主な事業別では、GTCC、防衛・宇宙が受注を大きく伸ばした
- 売上収益：9,839億円（前年同期比：+1,126億円）
全セグメントで前年同期比増収。
主な事業別では、GTCC、航空エンジン、製鉄機械、物流機器、冷熱が
売上収益を大きく伸ばした
- 事業利益：519億円（前年同期比：+370億円）
全セグメントで前年同期比増益。
売上増、サービス事業の拡大、価格適正化、一時費用の縮小等が寄与し、
事業利益は前年同期比248%増の519億円となった
- 当期利益：531億円（前年同期比：+339億円）
事業利益の増加にともない前年同期比177%増の531億円となった

2. 2023年度第1四半期決算実績

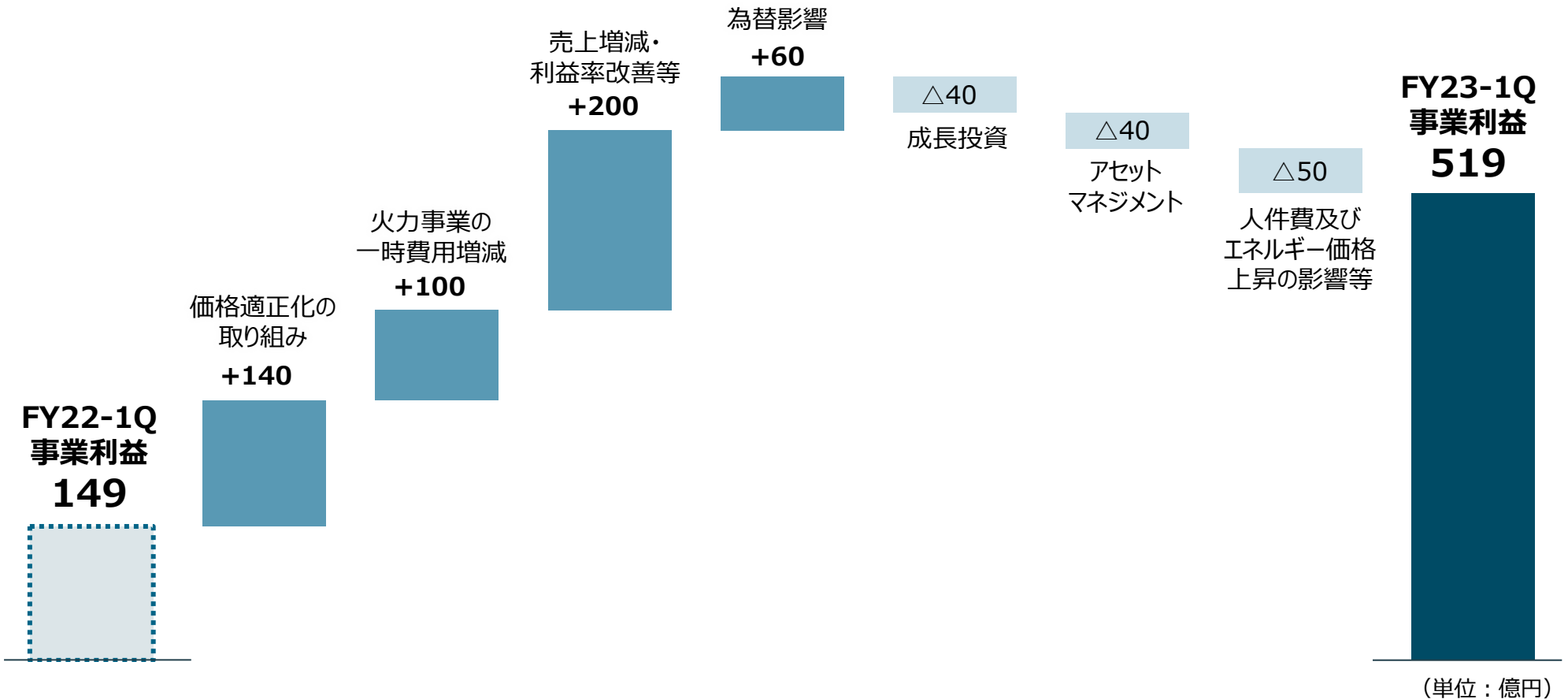
(単位：億円)	FY2022-1Q (利益率)	FY2023-1Q (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	9,178	16,068	+6,890	(+75.1%)
売上収益	8,713	9,839	+1,126	(+12.9%)
事業利益	149 (1.7%)	519 (5.3%)	+370 (+3.6 pts)	(+248.1%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	191 (2.2%)	531 (5.4%)	+339 (+3.2 pts)	(+177.1%)
EBITDA	472 (5.4%)	851 (8.7%)	+379 (+3.3 pts)	(+80.3%)
フリー・キャッシュ・フロー	△1,597	△1,403	+194	

連結財政状態、キャッシュ・フロー

連結財政状態	(単位：億円)	FY22末	FY23-1Q末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）		15,364	15,067	△296
棚卸資産		8,768	9,741	+972
その他流動資産		6,289	7,047	+757
（うち現金及び現金同等物）		(3,476)	(3,114)	(△362)
固定資産		10,411	10,634	+223
投資等		13,913	14,068	+154
資産合計		54,748	56,559	+1,811
営業債務		8,952	8,004	△948
契約負債		9,367	9,474	+106
その他		10,663	10,657	△6
有利子負債		7,424	8,907	+1,483
資本		18,339	19,515	+1,175
（うち親会社の所有者に帰属する持分）		(17,409)	(18,517)	(+1,107)
負債及び資本合計		54,748	56,559	+1,811
キャッシュ・フロー	(単位：億円)	FY22-1Q	FY23-1Q	増減
営業キャッシュ・フロー		△1,481	△1,601	△120
投資キャッシュ・フロー		△115	198	+314
フリー・キャッシュ・フロー		△1,597	△1,403	+194

事業利益増減分析

- 物流・冷熱・ドライブシステムにおいて材料費高騰を受けた価格適正化の効果が実現
- 人件費及びエネルギー価格上昇の影響を受けるも、売上増により利益が増加。
くわえて工事採算の改善及びサービス拡大等により利益率も改善



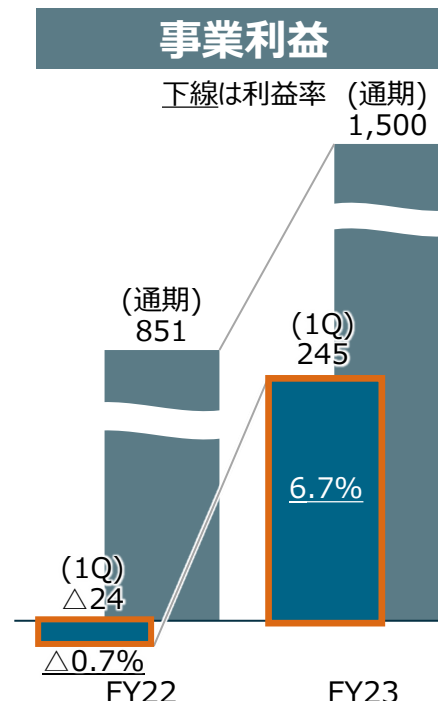
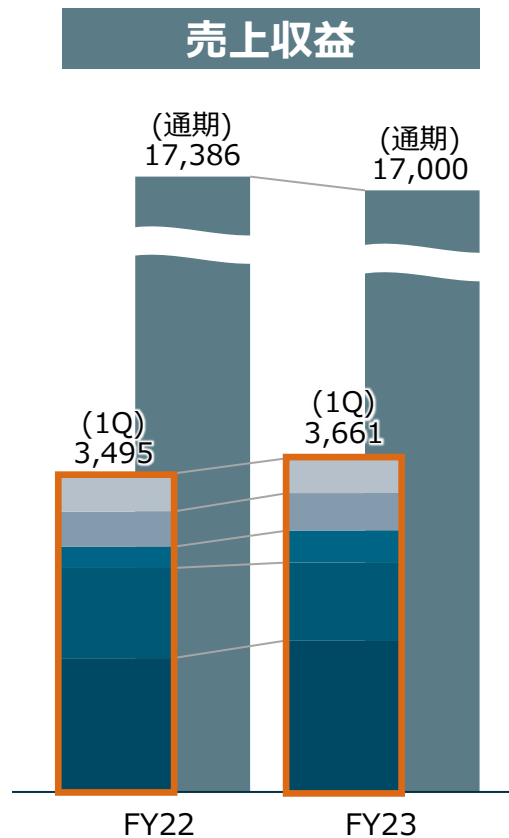
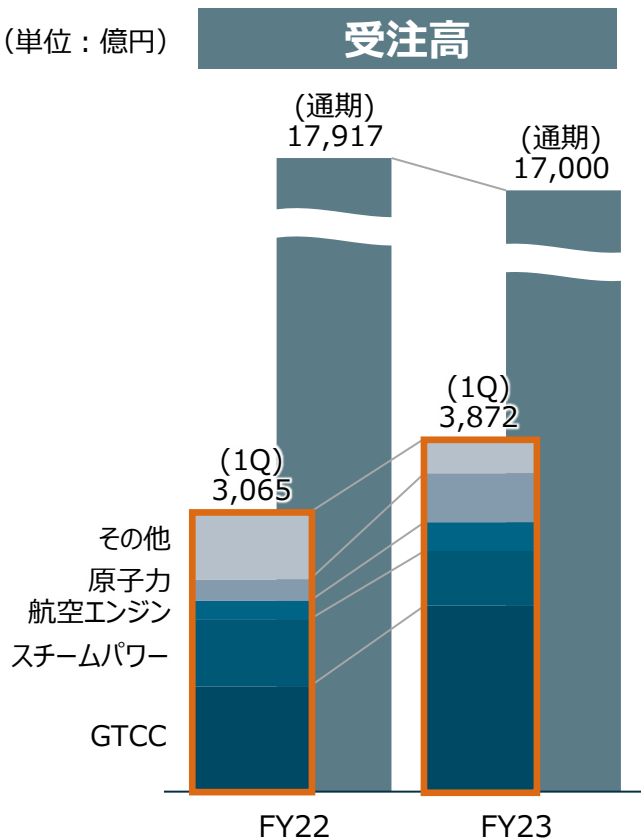
(単位：億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY22 1Q	FY23 1Q	増減	FY22 1Q	FY23 1Q	増減	FY22 1Q	FY23 1Q	増減
(単位：億円)									
エネルギー	3,065	3,872	+806	3,495	3,661	+166	△24	245	+270
プラント・インフラ	2,424	2,164	△259	1,318	1,657	+338	8	59	+50
物流・冷熱・ ドライブシステム	2,808	3,211	+402	2,659	3,101	+441	20	174	+153
航空・防衛・宇宙	970	6,871	+5,900	1,290	1,455	+165	75	92	+16
全社又は消去	△90	△51	+39	△50	△36	+14	68	△52	△121
合計	9,178	16,068	+6,890	8,713	9,839	+1,126	149	519	+370

SpaceJet事業に係る損益は「全社又は消去」に含めている。

セグメント別決算実績 <エナジー>

(単位：億円)



1Q実績 前年同期比

増益：

- ・GTCC
- ・スチームパワー
- ・航空エンジン

主な事業	受注高	
	FY22-1Q	FY23-1Q
GTCC	1,155	2,042
スチームパワー	739	598
航空エンジン	201	318
原子力	232	537

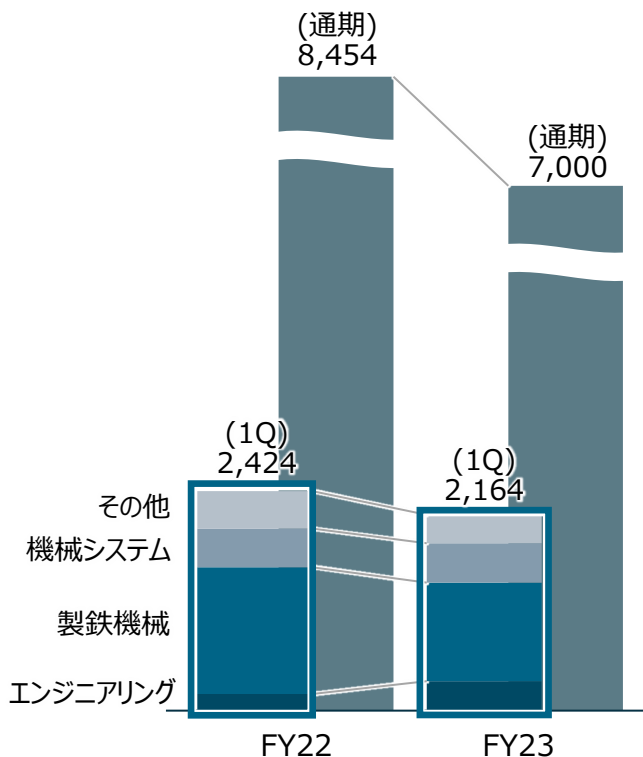
	売上収益	
	FY22-1Q	FY23-1Q
	1,468	1,663
	990	855
	232	352
	387	408

- ### 決算実績のポイント
- GTCCは受注・売上ともに好調。売上増・利益率改善にともない増益
 - スチームパワーは新設工事減により受注・売上ともに減少。一方、事業利益は一時費用の縮小等が寄与して増益
 - 航空エンジンは航空需要回復にともないスペアパーツ、MROともに増収
 - 原子力は堅調に推移

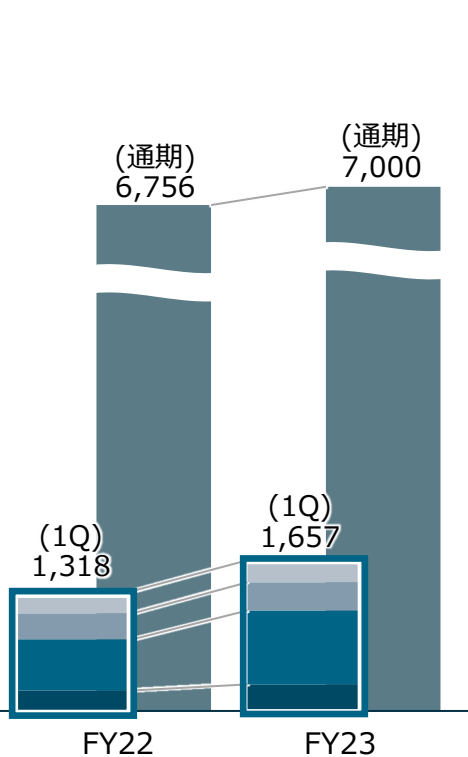
セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

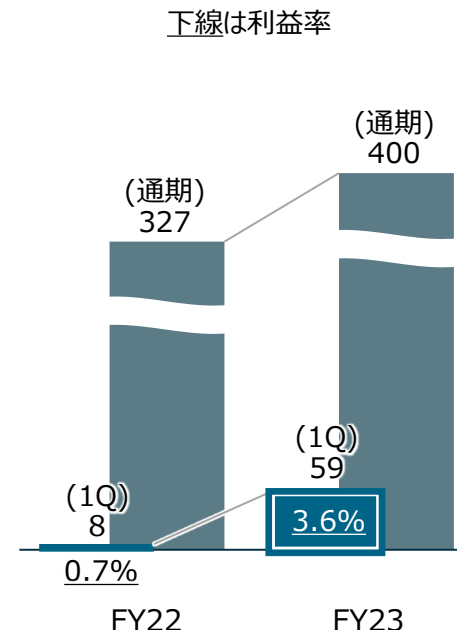
受注高



売上収益



事業利益



1Q実績 前年同期比

- 増益：**
- ・エンジニアリング
 - ・製鉄機械
 - ・機械システム

受注高

主な事業	FY22-1Q	FY23-1Q
エンジニアリング	199	338
製鉄機械	1,389	1,082
機械システム	426	431

売上収益

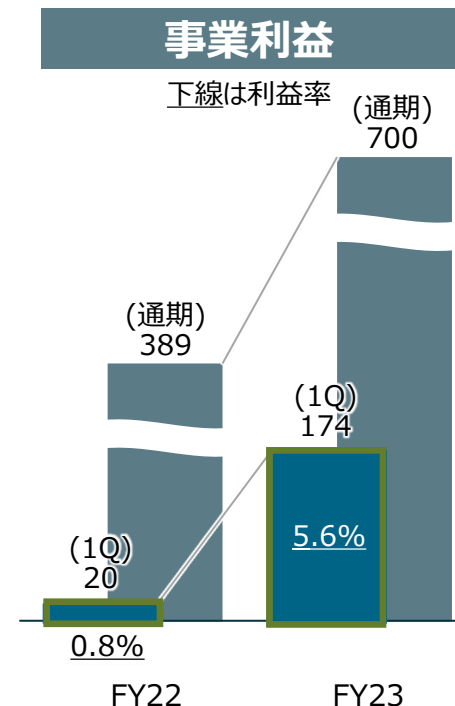
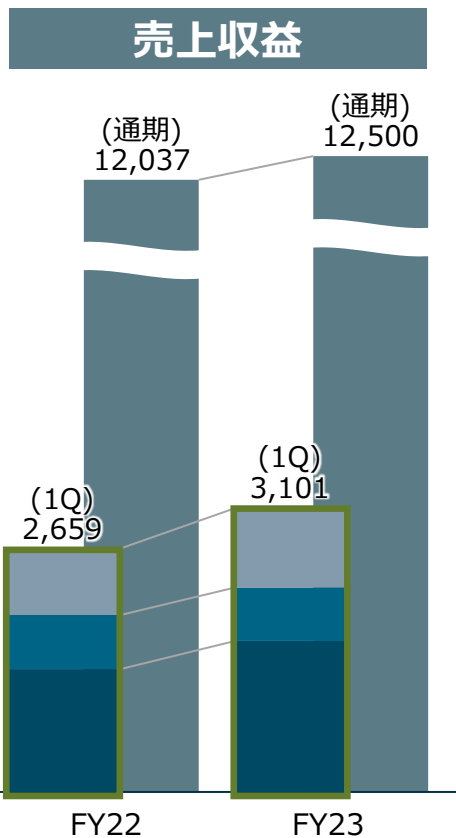
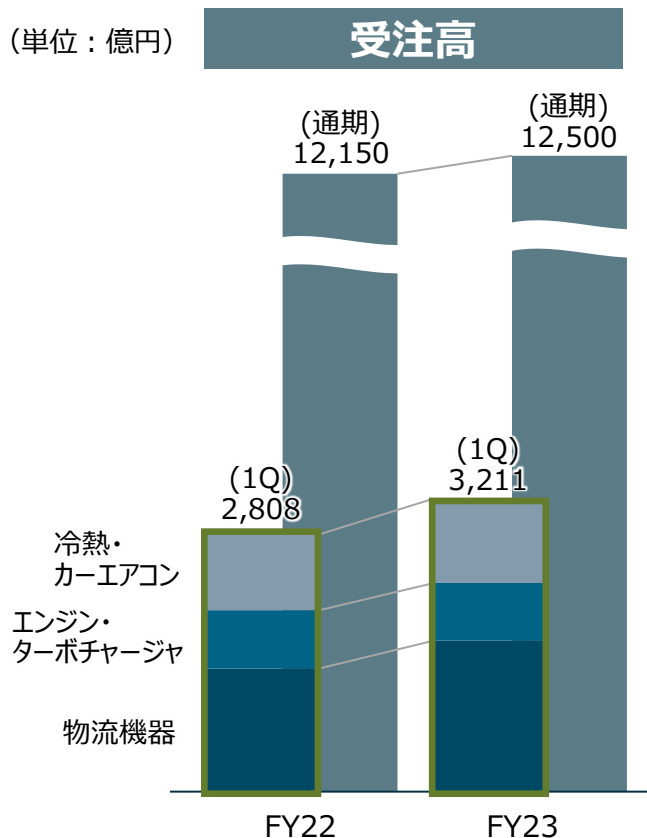
	FY22-1Q	FY23-1Q
その他	5,211	5,004
機械システム	1,095	1,288
製鉄機械	561	810
エンジニアリング	227	295

決算実績のポイント

- エンジニアリングは交通システムのサービス事業を中心に増収増益
- 製鉄機械は過去2年間で受注残高を大きく伸ばしており、工事の順調な進捗にともない増収増益
- 機械システムは堅調に推移

セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

(単位：億円)



1Q実績 前年同期比

増益：

- 物流機器
- エンジン
- 冷熱

減益：

- ターボチャージャ

主な事業	受注高	
	FY22-1Q	FY23-1Q
物流機器	1,352	1,659
エンジン・ターボチャージャ	642	631
冷熱・カーエアコン	830	928

	売上収益	
	FY22-1Q	FY23-1Q
物流機器	1,352	1,659
エンジン・ターボチャージャ	592	588
冷熱・カーエアコン	731	871

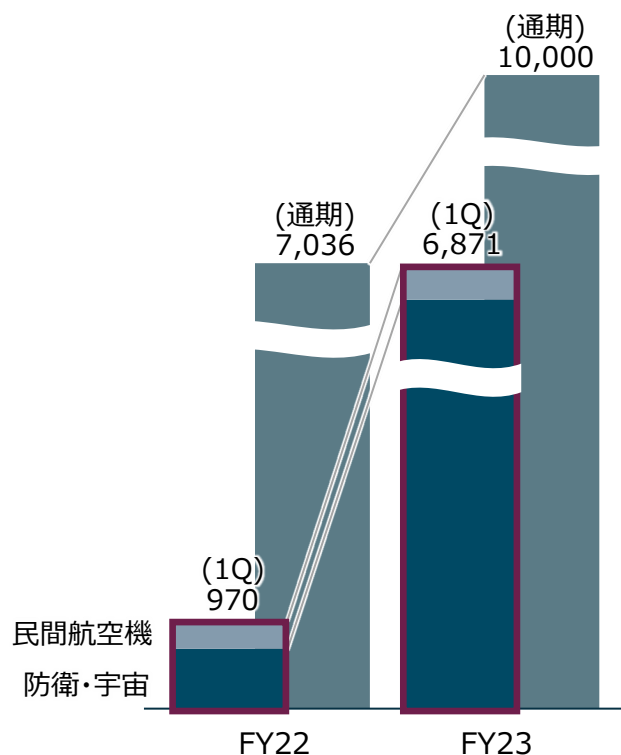
決算実績のポイント

- 物流機器、冷熱は、価格適正化及び販売台数増による売上増にくわえて、為替円安の影響により増収増益
- エンジンはデータセンター・半導体工場向けの発電用エンジンの販売台数増等により増収増益

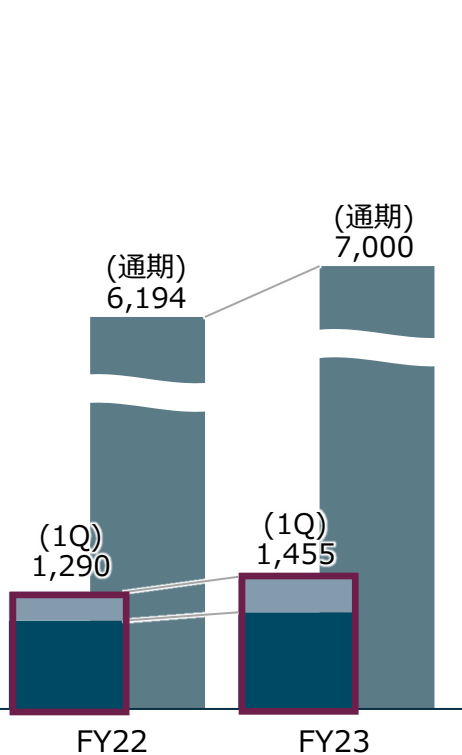
セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)

受注高

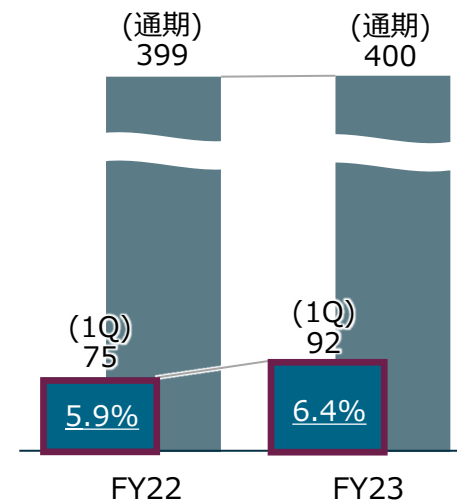


売上収益



事業利益

下線は利益率



1Q実績 前年同期比

増益：
・防衛・宇宙
・民間航空機

受注高

主な事業	受注高	
	FY22-1Q	FY23-1Q
防衛・宇宙	650	6,491
民間機	320	380

売上収益

主な事業	売上収益	
	FY22-1Q	FY23-1Q
防衛・宇宙	973	1,067
民間機	316	388

決算実績のポイント

- 防衛・宇宙の受注は、スタンド・オフ防衛能力に関する大型案件を中心に、昨年度に策定された防衛力整備計画に基づく複数の案件を受注したことにより、前年同期比で大幅増加
- 民間機は、Tier1事業において出荷機数増及び為替円安の影響により増収増益

3. 2023年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

前回公表値（2023年5月10日）から変更なし

(単位：億円)	2022年度 (利益率)	2023年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	45,013	46,000	+986	(+2.2%)
売上収益	42,027	43,000	+972	(+2.3%)
事業利益	1,933 (4.6%)	3,000 (7.0%)	+1,066 (+2.4 pts)	(+55.2%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,304 (3.1%)	1,900 (4.4%)	+595 (+1.3 pts)	(+45.6%)
ROE	7.9%	11%	+3 pts	
EBITDA	3,311 (7.9%)	4,400 (10.2%)	+1,088 (+2.3 pts)	(+32.9%)
フリー・キャッシュ・フロー	353	△1,000	△1,353	
配当	130円 中間60円/期末70円	160円 中間80円/期末80円	前提為替レート：1ドル=130円、1ユーロ=140円 未確定外貨：31億ドル、4億ユーロ	

前回公表値（2023年5月10日）から変更なし

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY22 実績	FY23 見通し	増減	FY22 実績	FY23 見通し	増減	FY22 実績	FY23 見通し	増減
(単位：億円)									
エネルギー	17,917	17,000	△917	17,386	17,000	△386	851	1,500	+648
プラント・インフラ	8,454	7,000	△1,454	6,756	7,000	+243	327	400	+72
物流・冷熱・ ドライブシステム	12,150	12,500	+349	12,037	12,500	+462	389	700	+310
航空・防衛・宇宙	7,036	10,000	+2,963	6,194	7,000	+805	399	400	+0
全社又は消去	△545	△500	+45	△347	△500	△152	△35	0	+35
合計	45,013	46,000	+986	42,027	43,000	+972	1,933	3,000	+1,066

4. 補足資料

大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	FY22-1Q	FY22通期	FY23-1Q
米州	1	4	-
アジア	3	7	3
EMEA	1	1	-
その他	-	4	-
受注台数 合計	5	16	3
契約残台数	46	43	42

【参考】中国の協業先企業における受注台数

	FY22-1Q	FY22通期	FY23-1Q
受注台数	14	27	7

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY22	6	7	7	10	30
FY23	7	/	/	/	7

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY22	1	0	0	0	1
FY23	0	/	/	/	0

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY22	5	7	8	5	25
FY23	9	/	/	/	9

研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY22-1Q	FY23-1Q	2023年度見通し
研究開発費	207	299	1,500
減価償却費	323	331	1,400
設備投資	261	351	1,800

販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY22-1Q	FY23-1Q
販管費	1,429	1,563

為替レート (売上計上平均レート)

	FY22-1Q	FY23-1Q
USドル (円 / USドル)	125.0	136.3
ユーロ (円 / ユーロ)	136.0	144.6

受注残高 (単位：億円)	FY22-4Q	FY23-1Q
エネルギー	33,256	34,553
プラント・インフラ	15,092	15,592
物流・冷熱・ドライブシステム	548	646
航空・防衛・宇宙	11,718	17,148
合計	60,618	67,942

地域別売上高 (単位：億円)	FY22-1Q		FY22通期		FY23-1Q	
日本	3,607	(41%)	18,083	(43%)	3,679	(37%)
アジア・パシフィック	1,715	(20%)	7,658	(18%)	1,683	(17%)
米州	2,193	(25%)	10,684	(26%)	2,993	(31%)
EMEA	1,197	(14%)	5,602	(13%)	1,484	(15%)
合計	8,713	(100%)	42,027	(100%)	9,839	(100%)

